

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.140
2019.6

くしろ丹頂



CONTENTS

- 第13回 釧路丹頂農業協同組合通常総会 ————— 1
- 通常総会 武藤清隆組合長挨拶 / 特別決議 — 2~3
- 新役員の紹介 / 職務分担 ————— 4
- 新役員就任にあたっての抱負 ————— 5~7
- 退任役員へ花束贈呈 / 研修生受入施設愛称決定 — 7
- 釧路丹頂農協酪農振興会 通常総会 ————— 8
- 第41回釧路B&Wショウ/2019北海道B&Wショウ — 9~10
- 農作業安全祈願祭 / 酪農支援型自販機設置 — 11
- 酪農実習体験・感想文 ————— 12~14
- 乳質改善PJ情報局 ————— 15
- 普及センターだより ————— 16
- JAグループ通信 ————— 17
- JAバンクからのお知らせ ————— 18
- JAジャンプ広告 ————— 19
- ちょっと一息頭の体操「ナンプレ」 ————— 20
- 組織機構図 ————— 21~22
- 理事会報告/生乳生産実績/辞令発令/退職者 — 23



研修生受入施設 愛称「ひだまり」に決定!!
愛称考案者 鶴居 齊藤 弘子さん

第13回 釧路丹頂農業協同組合通常総会



中央会根釧支所長
吉田 重彦 様



鶴居村長
大石 正行 様



(左)藤澤議長 (右)對木副議長

5月24日(金)、鶴居村総合センターで、第13回通常総会が開会されました。
JA綱領を出席者全員で斉唱し、武藤組合長から開会の挨拶がありました。また、ご来賓の皆様を代表し、鶴居村長 大石正行様、JA北海道中央会根釧支所長 吉田重彦様からご挨拶を頂きました。
総会の定足数は、正組合員総数358名に対し、出席組合員数308名(本人出席63



組合員からの質疑

名、代理人出席11名、書面議決234名)により総会は成立し、議長に幌呂地区・藤澤誠氏、副議長に白糠地区・對木隆司氏が選出され、議事を進行了しました。

議案第1号 建物施設整備積立金(定款第65条に定める目的積立金)の設定についてから議案第12号迄、及び報告事項について順次上程され、質疑応答後、議案は全件承認されました。その後、特別決議が上程され採択されました。
総会にご出席頂きましたご来賓の皆様方、組合員の皆様方に深く感謝申し上げます。今後も当JA事業運営に対し、より一層のご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

第13回 通常総会挨拶(要旨)

第13回通常総会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

元号が5月より平成から令和に改められました。平成を振り返りますと、多くの大災害に見舞われ、農業界では、TPP



代表理事組合長
武藤 清隆

尽極まりない農協改革も迫られ、まさに激動の30年でした。

生産基盤の弱体化により、食料自給率45%を目標に掲げながらも実態は38%と厳しい現実です。特に昨年の4月に改正畜産法が施行され、生乳の販売先を自由に選択出来る制度に改正され、組合員の動向が注視されました。そうした中、当農協でも指定団体以外への出荷者が出てしまい大変残念ですが、生産者の自由意思を尊重しなければなりません。しかし、この先の生乳需給状況を勘案した時、当然リスクを抱える事となり、それらを念頭に行動する事が必要です。昨年の9月に発生した胆振東部地震で起きたブラックアウトでは、農協組織本来の助け合いの精神が発揮され、被害を最小限に抑える事が出来、一致団結して行動する事が必要であると改めて認識しました。

当農協も平成18年に合併以来、100戸程の組合員が離農をされました。今、国を挙げて酪農基盤の強化に向け、各種対策を講じておりますが、その流れに歯止めを掛ける事が出来ない状況です。

こうした状況下、当農協の対応として、2014年に策定した第2次中期計画では、生乳生産10万5千トンを目標に掲げ、取り組んで参りましたが、検証の結果その数量こそ達成できなかったものの、総体的には80%程度の達成率でありました。特に担い手の確保は最重要課題であり、昨年建設した研修生受入施設を最大限に活用し、積極的な展開を図るとともに、労働力の確保、技能実習生の受け入れ対応はもとより、哺育育成牧場の整備、TMRセンターの立ち上げ、複数戸法人の立ち上げにも積極的に対応して参ります。

また、地区懇等で説明もし、ご理解頂きました機構改革を第3次中期計画では確実に進め、支所体制につきましては来年度廃止し、事業別事業部制に移行し新しい体制と致します。また、賛否両論頂きました金融店舗の窓口移管集約につきましては、最長で3年間の収支状況を見て結論を出します。その間、支所体制の廃止に合わせて、音別店・幌呂店を効率化店舗として運営して参ります。更に、収支が厳しいAコープ事業につきましては、早急に改善策を取りまとめ、組合員の皆様にお示ししたいと考えております。

また、貯金残高が200億円以上であることから常勤監事の設置が必要となり、その整備も図って参ります。組合員・職員の皆様にとりましては痛みの伴う改革ですが、今、国から求められている農協改革に対応しな

がら、組合員の負担軽減・所得の増大に向け、積極的に取り組んで参ります。

こうした中での事業運営でありましたが、6月以降の天候不順や粗飼料品質の低下、9月に発生したブラックアウトの影響により、生乳廃棄や乳房炎等から、一時的な低下が見られました。しかし、規模拡大による増頭や各農場における飼養管理への意識の高揚等から、生乳生産は回復基調になり最終的には10万1千553トン(前年対比102・6%)となりました。生乳廃棄による損害は、ホクレンより被害相当額の1/2の支援を頂き、当農協におきましても損害補填を実施し損害額の負担軽減を図りました。この他期中で、高品質乳出荷奨励事業で6千万円余り、草地改良促進事業・搾乳素牛増頭対策・乳用牛繁殖成績向上対策・サルモネラ症マ

イコプラズマ感染症損害支援事業・発電機導入設置助成事業・農業施設拡大支援事業・新規就農担い手対策サポート事業等に

2千800万円余りの対策を講じた他、生乳生産基盤緊急対策事業で9千900万円の低利融資を実施致しました。これらの取組みの結果、当年度の事業利益は7千900万円となり、税引後当期剰余金は1億100万円を計上し、剰余金処分により所要の準備金、積立金による内部留保の他、特別配当金による組合員還元を措置する事が出来ました。改めて関係各位に心より厚くお礼申し上げます。

今後におかれましても、今一度、協同組合精神に立ち返り、私達が目指す理想の農協運営に

向かって邁進して参ります。本日のご参集に心から感謝とお礼を申し上げます。

JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議

JAグループ北海道は、昨年11月に第29回JA北海道大会を開催した。大会では、「農業所得増大」「担い手確保・育成」「サポーターづくり」など、前回大会の決議事項を継承し加速・拡充していくこと、協同組合の原点を改めて見つめ直し「新たな協同組合」の姿を継続的に討議していくことを決議した。

我々は、政府が主導する農協改革に対し、改革は自ら行うものとして、平成26年に定めた「JAグループ北海道改革プラン」を皮切りに、JA北海道大会での決議を通じて、真に組合員のためとなる改革を不断の行いとして取り組んでいく。

組合員・JA・連合会・中央会の各々が、役割を再確認するとともに、将来ビジョンである「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、協同の力と総合力をフルに発揮し、一丸となって大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革に取り組むものとする。

この特別決議は、満場一致で採択されました。



JA青年部部长
松下 雅幸 さん



新 役 員 の 紹 介



上段：五十嵐政敏、對木 範誉、藤澤 常行、成田 純哉、寺下 信夫、石動 稔
 下段：松下 勉、大坂 博文、武藤 清隆、瀧澤 義一、千葉 喜好、白木 良雄、齊藤 和弘

役 員 の 職 務 分 担

1. 執 行 体 制

(就任日：令和元年5月24日)

会 長 理 事	瀧 澤 義 一
代 表 理 事 組 合 長	武 藤 清 隆
代 表 理 事 専 務	千 葉 喜 好
常 務 理 事 (信 用 担 当)	白 木 良 雄
理 事	五十嵐 政 敏、大 坂 博 文、松 下 勉
	對 木 範 誉、藤 澤 常 行、成 田 純 哉
代 表 監 事	齊 藤 和 弘
監 事	寺 下 信 夫 (員 外)、石 動 稔 (常 勤)

2. 専 門 委 員 会

(就任日：令和元年5月31日)

管 理 金 融 共 済	委員長 五十嵐 政 敏	委員 千 葉 喜 好	委員 藤 澤 常 行
	委員 對 木 範 誉	委員 大 坂 博 文	委員 成 田 純 哉
	委員 白 木 良 雄		
営 農 経 済	委員長 大 坂 博 文	委員 松 下 勉	委員 千 葉 喜 好
	委員 對 木 範 誉	委員 五十嵐 政 敏	委員 成 田 純 哉
	委員 白 木 良 雄		
融 資 協 議 会	委員長 松 下 勉	委員 千 葉 喜 好	委員 藤 澤 常 行
	委員 對 木 範 誉	委員 成 田 純 哉	委員 白 木 良 雄

新役員就任にあたっての抱負



瀧澤 会長

釧路丹頂農協の理事となり5期目を迎えました。4農協合併以来13年が経過し、農業及び農協を取り巻く環境は大きく変化しております。ホクレンの副会長として在職9年目を迎える中、課題は山積しておりますが、どうすれば「組合員の所得向上及び経営の安定」に資するかを最優先に考え、今後において、引き続き取り組んでいく決意であります。



武藤 組合長

過日開催の臨時理事会におきまして代表理事組合長の選任を受けました。その責任の重さに身が引き締まる思いです。

3期目となります。今期につきましては、第3期中期計画の確実な実践が求められます。役職員一丸となって取り組み、組合員の皆様の経営・生活をしっかりと守る為全力で取り組みますので、どうか御協力の程宜しくお願い致します。



千葉 専務

理事2期目に代表理事専務に選任いただき重く受けとめております。酪農人生45年、経営者として今日まで頑張れたのは、生活、子育て、教育の場として農業が最高の環境である事が大きな点であります。今日その事が失われつつあることが残念であり、役員として農業の原点について考える人間が一人居てもいいかと考えております。

家族が健康で楽しく生活ができることを大切に、そして最優先に考える役員でありたいと思います。組合員皆様の御協力宜しくお願い申し上げます。



白木 常務

5月の通常総会、その後の臨時理事会におきまして、引き続き常務理事として選任をいただきました。改めてその責任の重さを痛感しているところでございます。

農協運営におきましては、通常総会で承認をいただきました第3次中期計画の重要課題を解決していくことが必要です。中でも機構改革による金融店舗事務処理体制の見直し及びAコープの運営方法の検討は特に重要な課題として再認識をし、役職員が一体となって取り組んで行かなければならないと考えております。

今後とも組合員の皆様が主役であるJA運動に取り組んで参りたいと考えておりますので、特段のご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



五十嵐 理事

この度、理事の推薦を頂き責任の重さを痛感しています。

生産者が年々減少する今、労働力不足の解消や所得の向上を計る為、営農支援組織の利用、繁殖管理の向上が重要だと思えます。

酪農家経済が良くなり、農協の更なる発展の為、そして若い酪農家が、夢や希望のもてる環境になる様、これからも組合員の皆様に御指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



大坂 理事

再度、営農経済委員長の選任を受け身の引き締まる思いです。よろしくお願い致します。

昨今の酪農経済は良好のように思われるが資材の高騰、労働力不足またTPP等不安要素が山積しております。この様な中、哺育・育成牧場、TMRセンター等の支援組織の充実は不可欠と思えます。微力ではありますが、組合員の所得向上につながる様に尽力したいと思います。更なる皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



松下 理事

この度、このような機会を再度与えて頂き感謝を申し上げます。

さて最近の私達の産業においては、少子高齢化による担い手、労働力不足等々課題は山積しており、地域の営農支援組織の強化に向けて、地域の組合員と共に考え地域振興に微力ながら努めて参りますのでご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。



對木 理事

3期9年間常勤役員として努めさせていただきました。この間の組合員はもとより、行政関係機関等、多くの皆様に対しまして深く感謝を申し上げます。

今後共どうぞよろしくお願い致します。



藤澤 理事

この度、3期目の推薦を頂き、微力ながらJAの赤字部門の自浄努力と組合員皆様の少しでも所得向上に寄与できる様取り組んで参ります。

クラスター事業で導入される農業機械や施設の整備及び畜産ICTの有効利用による省力化や労働力の負担軽減に努力してまいります。今度いかに栄養価の高い粗飼料を生産及び確保していくか、JAの植生改善プロジェクトを有効活用して組合員所得の向上に取り組んで参ります。



成田 理事

この度、推薦を頂き理事となり身の引き締まる思いであります。現在の酪農を取り巻く環境は大きく変化し、2極分化が進み、また少子高齢化による担い手、労働力不足が深刻になっており今後の大きな課題であります。

この3年の任期の中微力ながら、若者達そして地域住民皆様の明るく活力のある振興に努力してまいりたいと考えております。

皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。



齊藤 代表監事

この度、地域の方々のご推薦をいただき釧路丹頂農協代表監事に就任いたしました。

改正農協法に伴う新たな監査制度や、JAくしろ丹頂第3次中期計画の初年度にあたる中での就任に身の引き締まる思いです。そして新米監事ということで多くの不安はありますが、組合員や地域の方々に安心してJAを利用して頂けるよう、しっかりと職務を遂行して参りたいと思います。

最後に、新たな時代となり一層の国際化が進む今だからこそ、協同組合としての組織力を高め次の世代へ続くJAくしろ丹頂になるよう、組合員皆様と共に歩んでいけたらと思います。



寺下 員外監事

員外監事として2期目を迎えることとなり身の引き締まる思いです。現在は農業や農協を取り巻く環境が大きく変化して対応が難しい時代に入ってきていると思います。従って組合員と役職員が、今まで以上に一体となって取り組んでいくことが重要かと思えます。

そのような中で釧路丹頂農業協同組合が更に発展していくように、微力ではありますが精一杯努めさせていただきます。組合員や役職員の皆様には今後ともご指導の程宜しくお願い致します。



石動 常勤監事

私こと 定年間近を迎えこの度、5月24日付をもちましてJAくしろ丹頂を退職し、第13回通常総会にて監事に選任され、その後の臨時監事会にて新設の常勤監事に就任致しました。

振り返りますと、昭和54年4月に旧白糠町農協奉職以来、40年2ヶ月と云う長い年月が過ぎ去っております。

この間、目まぐるしく変転する昭和・平成の時代の流れの中を今日まで、大過なくJA職員として勤務させていただいたのも、ひとえに組合員の皆様をはじめ役職員並びに各連合会のご指導とご厚情の賜物と心より感謝し、お礼を申し上げます。

今般、新たな職責の常勤監事として、監事監査への組合員の期待は大きく、JAの組織運営において、果たす役割も重要なものとなっておりますので、職員時代に培った経験を基に監査業務を遂行し、更なる内部統制構築の一助になればと思っております。

依然として、農業・農協を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。監事は独任制ですがJA役員の一員であることを自負し、組合員・役職員が一枚岩となって迫りくる難局を打破するために、共に力を合わせて当JAの発展に寄与する考えでありますので、今後とも特段のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げまして、退職並びに就任の挨拶とさせていただきます。

退任役員へ花束を贈呈!!



通常総会終了後、改選により役員を退任された方々に、JA事業運営に対し、長きにわたりご尽力頂きました感謝の意を表し、花束を贈呈致しました。

・前代表監事 澁谷 博氏
・前 監事 富坂 三春氏

本年4月に不慮の事故により逝去されました、故田井博行理事に対しましては、これまでの功績などに感謝の意を表し、開会前に黙祷を捧げました。ここに改めてご冥福をお祈りいたします。

研修生受入施設 愛称「ひだまり」に決定!!



考案者の齊藤弘子さんへ記念品を贈呈

平成30年12月に完成した、研修生受入施設の愛称（ネーミング）を公募し、たくさんの応募を頂きました。誠にありがとうございました。

厳正なる選考の結果、鶴居村下久著呂の齊藤弘子さん考案の「ひだまり」に愛称が決定いたしました。「研修で疲れて帰っても、ホッとする居場所」の意味が込められており、今回の通常総会時に齊藤弘子さんへ記念品が贈呈されました。今後、有効活用はもとより末永く愛される施設を目指して参ります。

釧路丹頂農協酪農振興会 通常総会開催



後列左から菱沼監事、瀬戸理事、伊藤理事、松田監事
前列左から藤澤副会長、對木会長、佐藤理事



挨拶する折笠会長

4月17日、本所で第14回釧路丹頂農協酪農振興会通常総会が開催されました。

折笠文則会長は、「平成30年度を振り返ると天候不順による1番牧草の刈遅れ、デントコーンの不作による粗飼料の品質低下や収量不足で今後の生乳生産が懸念される年でした。また、9月に発生したブラックアウトにより生乳廃

棄等の被害が発生し、改めて自然災害の恐ろしさ感じ、災害に強い生産基盤を整えていく必要性を痛感しました。生乳生産については、10万1千tと目標の10万tをなんとか達成し今後は更に順調な生乳生産が維持される事を期



スムーズな進行に勤めた高橋議長

酪農振興会 新役員

会 長	對木 隆司	白 糖
副 会 長	藤澤 誠	鶴 居
理 事	伊藤 和宏	鶴 居
”	松井 俊治	鶴 居
”	佐藤 一哉	音 別
”	瀬戸 賢成	音 別
理事(農協常勤)	千葉 喜好	鶴 居
監 事	菱沼 和也	鶴 居
”	松田 浩二	白 糖

待しております。平成30・31年度の乳価については、プール乳価及び新制度補給金の値上がりで、多くの農家の乳代単価が100円を超え、個体販売価格も依然高値で推移し、農家所得は確保されると思われます。今後は更なる生乳増産のために個々の農場において飼養管理の充実を図って頂き、5年以内には生乳生産11万tを目指す生産基盤体制を整えて頂きたく今後ともよろしくお願致します。」と挨拶しました。

議長は、鶴居支部の高橋智久さんが務め、平成30年度事業報告並びに収支決算、平成31年度事業計画他、全議案承認されました。

役員選任では、新部長に對木隆司さんが選任され、新体制は上記のとおり決定し、総会は盛会裡に終了しました。

第41回 釧路B&Wショウ 開催



審査員
丹羽 博文 氏



グランドチャンピオン牛と伊深洋平さん



5月11日、釧路市大楽毛・釧路農協連共進会場で釧路ホルスタイン協議会主催による第41回 釧路B&Wショウが開催されました。管内6JAから、計62頭の出品牛が集まり、丹羽博文氏（別海町酪農家）が審査員、デーリイプリンセスは、猿渡菜美香さん（阿寒町）が務めました。



やったぜ最高！

審査の結果、（合）伊深ファームの出品牛ハイチヤン スターブ ライトゴールドDロ ジー E T（5歳成牛クラス）がみごとグランドチャンピオンに輝いた他、当JAの出品牛は各所で優秀な成績を収めました。
主な入賞牛及び出品者並びに受賞者は表のとおりです。



うれしい受賞式 清水さん



増田さん 1位決定の瞬間！



2019 北海道B&Wショウ



来たぜ俺たちの舞台



お疲れ様でした

北海道B&Wショウ 出品牛一覧 (当JA分)

部	順位	名 号	出品者(地区)
1部	17位	TKS デリア コウチャンドアー ET	清水 武志(鶴居)
2部	26位	ウツズスター ジュディー スプラツウーン タラ	林 稔幸(白糠)
5部	11位	TKS モントレー フェイス	清水 武志(鶴居)
9部	17位	レディホープ キャピタル チツプ	(農)清和農場(鶴居)
10部	17位	ヘイチャン スターブライト クイーンガール ET	(合)伊深ファーム(白糠)
14部	5位	ヘイチャン スターブライト ゴールドD ロジー ET	(合)伊深ファーム(白糠)

5月25・26日、北海道ホ
ルスタイン共進会場(安平
町早来)で、北海道B&W
ショウが開催されました。
全道各地区の代表牛31
3頭が出場し、審査員は山
内 誠氏(北見市酪農家)
が務めました。
当JAからは、4農場よ
り6頭が出品され、(合)
伊深ファームのヘイチャン
スターブライト ゴールド

D ロジー ETが第14部
(育成シニアクラス)で5
位に入るなど健闘をみせま
した。
グラントチャンピオン
は、清水町(有) 田中牧場
の出品牛T M F ナデイル
アット アンナ エコー(第
14部6歳以上成牛クラス)
が選出されました。
当JA出品者の成績は表
のとおりです。

釧路B&Wショウ 入賞牛一覧表

グラントチャンピオン

ヘイチャン・スターブライト・ゴールドD・ロジーET (合)伊深ファーム 西部

部	順位	名 号	出品者	地区
1部	2	TKS デリア コウチャンドアー ET	清水 武志	鶴居
	4	OP オラホーム サンライズ スツチャン	植田 紘史	鶴居
2部	2	ウツズスター ジュディー スプラツウーン タラ	林 稔幸	西部
	6	TKS ドアマン ヤコブス マアーイツカ ET	清水 武志	鶴居
3部	4	S.P ルイスデール リリコ サーマ ET	(農)高橋農場	鶴居
	5	HSY レーザブルツク スター	細谷 亮太	西部
4部	1	BS リラ ウインドプロカウ ET	(株)大坂ファーム	西部
	2	ウツズスター パレンタイン サーティーンローズ ET	林 稔幸	西部
5部	1	TKS モントレー フェイス	清水 武志	鶴居
	3	IF アイデイ メリデアンリリー ET	増田 一真	鶴居
6部	1	IF エルムランド マツカ メロメロ ET	増田 一真	鶴居
7部	3	ウツズスター エンペラー フォーティーンレオ	林 瑠輝	西部
8部	2	パラダイス マナー ランス モントレー	松田 浩二	西部
9部	2	KWF アイデアル メイ マツカチエン	(株)敬和ファーム	西部
	4	OP エムビービー ユニクス ラブラブ	植田 紘史	鶴居
10部	1	ヘイチャン スターブライト クイーンガール ET	(合)伊深ファーム	西部
	2	BS ロイグル ダイチーズ ET	(株)大坂ファーム	西部
13部	1	ヘイチャン スターブライト ゴールドD ロジー ET	(合)伊深ファーム	西部

「農作業安全祈願祭」 無事故を祈願!!



4月22日、本所で平成31年度釧路丹頂農協農作業安全祈願祭が開催されました。

武藤組合長をはじめ、鶴居村 大石正行村長、ホクレン釧路支所 西野 一支所長等各関係機関の代表者が出席し、玉串奉奠等の神事を執り行ないました。

對木前専務が「交通事故並びに農作業事故撲滅宣言」を、釧路丹頂農協青年部 松下雅幸部長が「交通安全宣言」を行ないました。

武藤組合長は、「忙しくなってくると疲れによる注意力散漫、少しの油断が生取り返しのできない事故につながります。ハンドルを握る時は、常に心にブレーキをかけながら作業等に当たって頂きたい。」と締めくくりました。

酪農支援自販機 ~各Aコープ店前に設置~

酪農支援型自動販売機『MOOMOO 自販機』

3つのポイント

1 ボタンひとつで出来る酪農支援

自動販売機の売上金の一部を酪農支援に寄付いたします。自販機のドリンク購入が直接寄付へと繋がるためどなたでも支援活動に参加できます。



2 支援金は酪農支援として活用

このプロジェクトによって集まった支援金は支援物資として酪農家の皆さまへの支援に活用されます。

3 災害時における「牛の飲み水」供給

災害時における牛の飲み水供給のサポートをいたします。北海道酪農家の方々を始め、地域生活者や産業の応援をこの自販機を通じて行ってきたいと考えています。



MOOMOO Vending machine



ボタンひとつで出来る酪農支援

酪農支援を身近に

ホクレン農業協同組合連合会
北海道コカ・コーラボトリング(株)

協働プロジェクト



自販機設置者募集中
ご興味のある方は、右記までご連絡ください。

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 電話 .011-888-2091



貴重な酪農実習体験を終えて・感想文

No.2

※2月24日～3月2日及び3月18～27日、日本獣医生命科学大学の2年生と3年生9名が来所し、各農場へ実習に入りました。実習を終えた感想文の報告2回目です。

受入先・北村康浩農場



大串 隼 さん

私は、この実習を通じて貴重な体験をたくさんさせていただいた。実習の初日から出産を見学することができた。しかも逆子の出産を見学した。さらに次の出産では双子の出産に立ち会うことができた。そして普通の出産の手伝いもすることができた。この10日間逆子、双子、通常の出産を経験できるのはなかなか無いことだろう。

喜ばしい出来事の一方で悲しい経験もすることができた。双子を生んだ母牛は出産を終えた次の日に死んでしまったのだ。あたりま

えのことだがその母牛はビクリとも動かず、目は光なく開いたままだった。いままでも実習期間がみじかく死を経験したことはなかったが経験してみるとやはり悲しく心にくるものがあった。そしてもう一頭、違う形

ではあるが同じ運命をたどろうとしている牛がいる。実習中盤にさしかかったところで起きたことだが、その牛は牛舎で転倒して下半身がいうことをきかなくなってしまうのだ。何度かミニローダーを使ってリハビリを試みたがいつこうに良くなる気配がなく、このままでは処理場に送られるだろう。人懐っこい牛だったので一層悲しい。牧場の方もかわいがっていたようでも残念がっていた。

経済動物であるからには、区切りをつけなくてはなら

ないが私には同じことができないだろう。虫や小動物を殺すのとは訳が違う。命に優劣をつけるのは良くないことだと思うが、私よりもはるかに大きい動物の生き死にを管理するのは非常にたいへんなことだ。

生き物と関わるのは楽しくもあり、つらくたいへんだが酪農にはビジネス的な面がおもしろいと感じた。借金はこわいけれども酪農の規模をうまく拡大できればそれだけお金を生み出すことができる。何千万円もする高額な重機を買ったり、自動搾乳機を導入すればよ

りお金を産出できるのが魅力的だ。もちろん上手にお金をつかわなくてはならぬいし、牛を殺すより残酷なことになるかも知れないが、大学で多くを学べばそういった問題とうまく立ちま

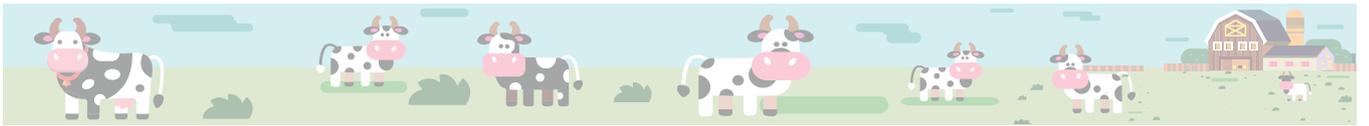
この実習を終えて私にとつてプラスになりました。牛からは様々なことを体験し、牧場の方は優しく丁寧に物事を指導してくださり、酪農がどのように成り立っているのかを知ることができ良かった。この実習が終わってしまったのが悲しいと思えるほど充実した実習だった。ぜひ機会があればまた来て、実習をつけたい。

受入先・松井俊治農場



本郷 圭祐 さん

私は3月18日のJALS 43便で釧路空港に到着しました。1日目は緊張しながらどんな農家だろうか？初心者でも仕事はできるか？とかを考えていました。農



家に着いた時には社長は家におらずお父さんとお母さんが手厚い歓迎をしてくれました。

初日から夕方の作業に参加させてもらいました。がつつりな仕事はせずに社長の仕事を見学していました。見学しているだけで多くの事を教えてもらいました。また初日にF1個体が産まれるところも見ることができました。慣れない飛行機での移動で思っていたよりも疲れていたのか一日目はすぐに寝てしまいました。2日目は5時半からがつつり作業をしました。まずは外国人のガーさんと一緒に若牛の牛舎を掃除しました。その内容は、まず牛糞を掃除し、おが屑を補充し、乾草を与えるという仕事でした。シンプルな仕事ですが、松井牧場の牛達は人に慣れているので作業

中などでも頭をこすりつけてくるので掃除がとても大変でした。その後は泌乳牛の食べ残しを乾乳牛へ与え、仔牛へミルクをやりました。昼の作業では一人一人普段やらないような仕事をします。初日は牛達の背中ブラッシングでした。夕方は牛糞の掃除、搾乳前の乳拭き、餌場の整理、泌乳牛の餌やりです。北海道の夜は牛舎の中に居てもとても寒さを感じました。初日から外国人のカミル君とガーさんと仲良くなれてよかったです。

基本的な作業に加え、3日目、4日目は仕事に慣れてくるとミルク管の掃除やゼロライト撒きなどの仕事が増えました。ただ漠然と仕事をするのではなく、な

ということを学びました。ゼロライトを撒く意味は水分を吸う、消毒などの理由がありますが一番の理由はすべり止めだったのです。貴重な実習の中で少ない時間で多くの疑問を見つけ、質問することが一番のスキルアップにつながると思いました。松井牧場の牛達は搾乳するのにコツがあり、最初の方は搾乳できませんでしたが、実習後半にはスムーズに搾乳できてとても嬉しかったです。

実習最終日にして、体調を崩してしまい、松井牧場の方々、農協の職員の方々、大学の先生方に多大な迷惑と心配をかけて大変申し訳ないと思いました。自分の体調を知り、コントロールすることも仕事の内だと重々感じました。農家の仕事は朝早くから晩まで仕事をするので社長には一番迷

惑をかけました。それでも社長は「また来い」とおっしゃってくれてとても嬉しかったです。実習でこの農家に行くことになっても自分の体調管理をしっかりしようと感じた実習になりました。

受入先・(株)敬和ファーム



松下 桃子 さん

私は、今回のJAくしろ丹頂の実習で初めて北海道に来ました。初めての北海道での実習ということもありとても不安でいっぱいでしたが、実際に実習に来てみるとそんな不安はきれいさっぱり無くなりました。受け入れ酪農家さんがとても優しくなれたことが本当に



救いでした。私は過去に実習に行ったことがありその時は厳しく実習がとても嫌いになっていました。でもここはご飯は美味しいしずっと優しく接してくれるし最高でした。こんなに優しくしてくれるなら私も行動で答えられるように頑張ろうと思いいつ10日間真剣に頑張ることができました。

実習に来てから1週間目に人工授精師さんの仕事に一日同行させてもらったことは決して忘れられない体験に成りました。私は人工授精師になる夢があります。実際に人工授精師の仕事を傍で見るのは貴重であり、一日同行させてもらった事で人工授精師のおおまかなスケジュールを知る事が出来ました。直腸検査では大学の实習では子宮を上手く見つけられなかったのですが、今回確実に触れて感

触を知ることが出来たので感動しました。子宮頸管は教科書で習った通りに硬く、黄体は丸くぶよぶよしていました。まだ自分一人では見つけられないので東京に戻ったら勉強強をして知識と手の感覚を鋭くしたいなと思いました。今回の同行で将来自分が人工授精師になっている姿を想像することが出来たのがとても大きいし、夢を目指す良いモチベーションになりました。一日お世話になった人工授精師の斎藤さんには感謝で一杯です。仕事をしている姿がかっこよかったです。

牧場での実習では搾乳、餌やり、除糞、子牛へのミルクあげ、清掃の一通りをやらせてもらいました。朝5時から作業は眠くて本当に大変でしたが仕事終わりに食べる朝食を楽しみにすることで頑張ることが出

来ました。個人的に作業の中で一番子牛へのミルクあげが好きでした。清掃は腕が筋肉痛になって意外とキツかったです。搾乳は大きい牛と触れ合えるので良かったです。

10日間の実習をこんなに短く感じたのは初めてでした。そう感じる事が出来たのは私を温かく受け入れてくれた成田さん夫婦のおかげです。毎日美味しいご飯を食べることが出来て本当に嬉しかったです。食事中心にする会話も楽しかったです。実習を難なくこなせたのはこの二人のおかげです。北海道に来て良かった。釧路に来て良かった。来年度の夏、機会があったらまたこの牧場に来て、半年間でパワーアップした姿を見たいです。本当に10日間ありがとうございました。

絶対にこの恩は忘れません。大学に戻っても一生懸命頑張ります。釧路最高です。



実習期間中、お世話になり大変ありがとうございました!!

牛がおると何かと面倒



搾乳後にディッピング液はほとんど使ったことがない、搾乳手順はいわゆる推奨される手順からはややかけ離れている、ミルカーの性能にもちよつと問題がある…。

でありながらも乳質はそれほど悪くない、むしろ結構上手くコントロールされているといった農場もあります。

これは一体どうしたことでしょう？

乳房炎に取り組もうとすると多くの関係機関の人は、どうしても学術的にとらえて考えてしまふ傾向があります。体細胞の正体は何であるのか、原因菌は

何でどこにいるか、各菌に対応できる抗生物質は何か、乳頭口をキレイにしてダメージを与えない搾乳手順やミルカーの性能はどうあるべきか…といったことです。

もちろんこれらは乳房炎コントロールをしていく上で欠かせない知識であつて、軽視されるべきものではありません。

しかし現実の結果は、常に乳牛が示しています。最終的な結果が良いということは、そのプロセスがすべて正解ではなかつたにせよ、総合力として高いものがあつたことを示すものです。

しかし期待値に届かない結果にあつては、部分の取り組みなどは非常に優れたものがあつたとしても、どこかに大きなウィークポイントがあつたことが総合力を損なつたと推測されます。

ですから「ディッピングなんかしなくても関係ないぞ」というのはAさんには正解であつても、それを全体論に拡張して論じることが無理があります。

乳房の周辺に環境性連鎖球菌(OS)や表皮ブドウ球菌(CNS)などが多くなるほど、乳房炎の感染リスクは高まるのは必然です。こうした菌があまりに多く、そしていつも乳牛に付きまとう状態にあつては乳房炎の発症リスクは高まります。

ところが非常に高い衛生レベルとはいかずとも、そこそ及第点レベルをしつかりと維持し、なおかつこうした環境性原因菌に乳牛自身が十分に對抗できる免疫力を有していれば、たやすく乳房炎に罹患することはほぼありません。

とある試験で、乳牛にはいけないとされる事項、つまり乳頭がやや汚れた状態で搾乳する、搾乳刺激からユニット装着タイミングを無視、過搾乳、ディッピングなしといったことを数日間試しました。ところが元気な乳牛はこれらの影響を受けることなく、乳房炎を発症させることはありませんでした。

つまり少々の不都合は乳牛の高

健康(免疫)レベルがあれば、対処してくれていることを示したのと言えるでしょう。



分娩後のエネルギー不足やケトシス、カビ毒や暑熱、管理者からの乱暴な扱いなどにさいなまされた乳牛は、免疫力を低下させてしまいます。こうした条件下にあつては、やはり相應のレベルの対処を施さなければ、通常はたちまち撃退している菌の影響を受けやすくなります。

元気な乳牛!、乳房炎抑制のために決して忘れてはならない要所です。

※情報提供は釧路農協連より

9



普及センターだより

釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所

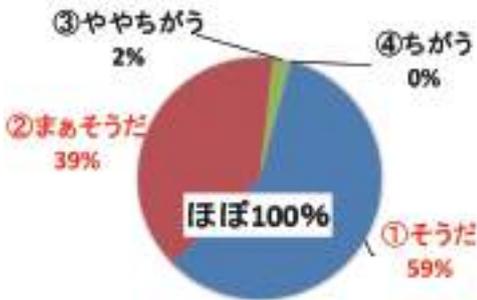
エゾシカによる食害 調査結果と対策事例

エゾシカによる牧草食害が各地で発生しており、牧草収量低下の大きな原因となっております。今回は、食害調査結果と対策事例について紹介します。

1 意識調査

始めに現状把握のため、JAくしろ丹頂にご協力いただき、鶴居村の農業者の方にエゾシカ食害への意識調査を実施しました（回答率約50%）。

調査の結果、ほとんどの方が「最近牧草食害が増えている」と実感していることがわかりました（図1）。また、約80%の方が「牧草食害に困っている」



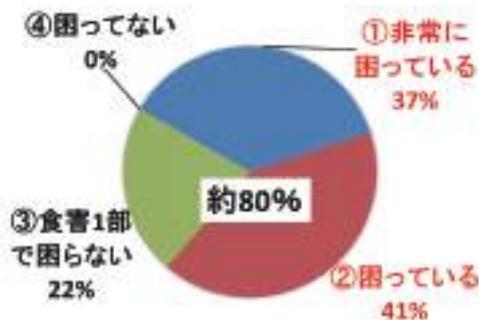
①最近食害は増えたと感じますか？

図1 意識調査結果 (n=41)

と答えており（図2）、食害が村全域に広がっている様子が伺えました。

2 具体的な食害状況

H29年にA農場の草地に食害を防ぐ1㎡の防護柵を設置し、



②牧草食害に困ってますか？

図2 意識調査結果 (n=41)

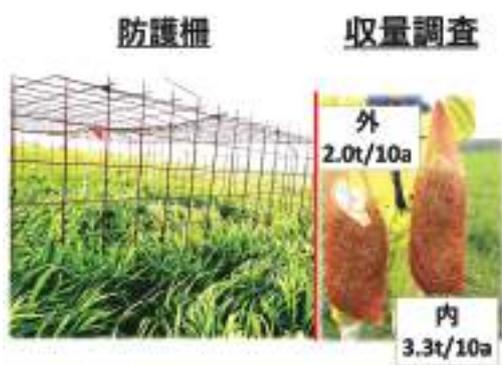


写真1 防護柵と収量調査

表1 電気柵導入意志決定支援シート

※草地面積や食害率、電気柵購入単価等を入力すると、費用対効果を試算し、導入の是非を判定できる。



図3 収量調査結果

haに電気柵を設置しました（写真1）。H30年は、新播草地2ほ場17haに電気柵を設置しました（写真2）。鶴居村のB農場では、電気柵導入意思決定支援シート（表1）を用いた試算結果から、電気柵の導入を決めました。

3 対策事例（電気柵）

柵内と柵外の収量調査を行いました（写真1）。その結果、1番草で1.3t / (約40%)の食害が認められました（図3）。



写真2 電気柵設置作業



写真4 1番草収量比較

新播草地に設置するだけでも効果が認められたので、電気柵の導入を考えてみませんか？ 食害対策をご検討の際は、普及センターまでご相談を！

6 最後に

真2) 収量調査の結果、1番草は鶴居村平均収量に対して44%多く収穫できました（図4）。



NHK連続テレビ小説「なつぞら」をご覧になっていますでしょうか？JA北海道中央会のフェイスブックページでは、4月23日より「なつぞらに関する投稿」を不定期ながら発信しています。

ドラマでは当時の農業や農村の様子だけではなく、農協（JA）についても、取り上げられていることから、北海道農業をサポートするJAグループ北海道として、ドラマの感想も含め、関連する北海道農業・酪農の歴史や魅力、JAに関する歴史・話題などをお届けしてゆく予定です。フェイスブックにて検索頂きJA北海道中央会のページに「いいね!」「ページをフォローする」をタップ頂きますと、記事が表示されるようになりますので、ご覧いただけると幸いです。フェイスブックページで「JA北海道中央会」で検索するか、または、こちらのアドレスからどうぞ
⇒ <https://www.facebook.com/jahokkaido>



JA北海道信連



JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マロン」への協賛を行い、今年で4年目となります。ゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴを掲出し、特設ブースには新キャラクター「よりぞう」も駆け付け、一緒に写真撮影をされた方に「よりぞう」シールをプレゼントしました。

「よりぞう」が登場すると、たくさんの子供たちに囲まれ、大会を大いに盛り上げました。



JA共済連北海道



JA共済連では、道内の8校（中・高等学校）にて、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する（スケアード・ストレイト教育技法）自転車交通安全教室を開催します。

JA共済連は、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております。



ホクレン



ホクレンは創立100周年を迎えた4月18日、札幌パークホテルにて会員JA・取引先をはじめとする皆様にご臨席いただいて記念式典を開催し、続けて祝賀会も開催しました。祝賀会では100周年の節目にあらためて設定したホクレンの経営理念～わたしたちは生産者のための協同組合として会員JAと連携した事業を通じ、共生の大地北海道から、「農」と「食」の未来を担います～が内田会長より発表されました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



JAバンク北海道で 新規申込み・お取引すると、さしあげ **マスマス**



年金 受取で! 年金振込口座の ご指定	給与 口座で! 給与振込口座の ご指定
JAネット バンクで! JAネットバンクの ご利用開始	JAカード 入会で! JAカードの ご入会

**新規お取引
申込みの方** **先着でさしあげ **マスマス****

2019年12月30日(月)までに
上記のいずれか1つでも
新規お取引の申込みされた方

**よりぞう
グッズ**などプレゼント!



※JAによって景品が異なります。また、数に限りがございますので、詳しくはJA窓口でご確認ください。

対象条件 2019年12月30日までに、年金振込口座のご指定、給与振込口座のご指定、JAネットバンクのご利用開始、JAカードのご入会を、期間中に申込みされた方

**お取引
された方** **抽選でさしあげ **マスマス****

2019年12月30日(月)までに、
上記のいずれか1つでもお取引された方

JA特産品を
名様に
抽選で**5,000**
プレゼント!



対象条件 2019年12月30日までに、年金振込口座、給与振込口座、JAネットバンク、JAカードのいずれかのお取引された方

応募方法 WEBエントリーのみの応募となります。
詳しくはJAバンク北海道のホームページ
(<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>)
または右にあるQRコードからご確認ください。



抽選権 対象お取引された方、1取引につき1口(最大4口)が、応募口数となります。

留意事項 ●当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。抽選結果に関するお問い合わせは受け付けておりません。●当選後の権利の譲渡、賞品の交換・換金には応じられません。●賞品のお届け先はWEB応募の際にご入力いただいた住所に、宅配もしくはJAの担当者より直接お届けします。(個人情報のお取扱いについて:応募フォームにご入力いただいた情報は、プライバシーポリシーに則り適正に管理します。また賞品発送に利用させていただきます。応募情報は、お客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に個人情報を開示・提供することはございません)

**JAバンク
新規ご利用特典**
初めてJAに
口座開設した方
限定!

JAバンクで口座を開設し、それぞれの期間内に対象のお取引をすると
QUOカード 最大 4,000円分プレゼント!

チャンス 1 口座開設から3ヶ月目の月末までに、JAカードのご入会、JAネットバンクのいずれかのお取引をいただき、WEBでご応募いただくと
毎月500名様にQUOカード2,000円分が当たる!

チャンス 2 口座開設から5ヶ月目の月末までに、年金振込口座のご指定、給与振込口座のご指定、JAカードでのご決済のいずれかのお取引をいただき、WEBでご応募いただくと
毎月500名様にQUOカード2,000円分が当たる!

対象
お取引数に
あわせ
当選確率が

**最大
2倍に!**

**最大
3倍に!**

詳しくは、
お近くのJAバンク窓口
にお問い合わせください。

JAバンク 北海道
<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

JAバンク北海道 **検索**

詳しくはWEBサイトをご覧ください ▶ <https://www.jabank.org/brand/specialgift2019/>



北海道の食と農の情報いっぱい。

JA²MP [ジェイエイ・ジャンプ] を使ってみよう

JA²MPとは?

JAグループ北海道が送る、北海道産農畜産物と出会う情報アプリです。アプリと一緒に出かけをして、実際に訪れた関連施設でチェックインをすれば、チェックインポイントがゲット! たまったポイントでプレゼントキャンペーンに応募すれば、抽選でおいしい北海道の農畜産物も当たります。

まずは
ダウンロード!



JA²MPって何ができるの?

JAグループ北海道の直売所にチェックイン
旬でお得な農畜産物情報を毎日チェック

- 集めて楽しいポイントラリーも!
- チェックインスポットラリー
- オススメ農畜産物情報
- 今の特集
- お知らせ

オススメ農畜産物



全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜や地域の特産品などの情報をタイムリーに発信します。直売所で、どんな農畜産物が売られているかを簡単に調べることができます。そこでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物をチェックして直売所へ行こう。直売所までの道のりもナビゲートします。



チェックインスポットを探す



全道各地にあるJAグループ北海道の関連施設にチェックインすると、ポイントが貯まります。



特集一覧

テーマに沿って、食と農に関する情報を毎月更新。季節の楽しい農業イベントなどを紹介します。珍しい野菜や農畜産物がどのように作られているかを学ぼう! 北海道農業の豆知識が満載。記事からチェックインして、紹介された農畜産物を売っているJA直売所へ行こう!

直売所やイベント会場など、JAグループ北海道の関連施設でチェックインポイントを集めて、豪華景品が当たるプレゼント抽選会に応募しよう。

主なチェックインスポット: 直売所, ガソリンスタンド, JAバンクATM, Aコープ, JAグループ主催イベントなど
はじめてチェックインした施設なら1,000ポイントがもらえます!

北海道のおいしい農畜産物を年間550人にプレゼント

プレゼント抽選会 応募期間 ①6月~7月 ②12月~1月(予定)

特選コース	10,000ポイント	3名様
プラチナコース	5,000ポイント	25名様
ゴールドコース	3,000ポイント	50名様
ブロンズコース	2,000ポイント	200名様

10,000ポイントで応募♪ 5,000ポイントで応募♪ 2,000ポイントで応募♪



*写真は抽選会の賞品の一例です。

ナンプレにチャレンジ!!

～ちょっと一息～ あたまの体操のコ～ナ～

※問題を解くカギは下に書いてるよ! 気軽にやってみて!!

リフレッシュ
できるかは、
あなた次第!?

6月の問題

	6	4	A		1	8		7
2	8	9		7	3	5	1	4
1			2		4		B	
	7	1		2				9
8	9		3	5	7	2	D	
4	3	2		C		6		
			7			1	8	6
6		3	1	E	8			
7							3	F

キリトリ

★ナンプレのルール★

- 【1】 どのタテ一列にも1～9の数字が1個ずつ入る。
- 【2】 どのヨコ一列にも1～9の数字が1個ずつ入る。
- 【3】 区切られた3×3のどのブロックにも1～9の数字が1個ずつ入る。

ルールを言いかえると

- 【A】 どのタテ一列にも**同じ数字は入らない**。
- 【B】 どのヨコ一列にも**同じ数字は入らない**。
- 【C】 区切られた3×3のどのブロックにも**同じ数字は入らない**。



今回の答えは次月号
に掲載するよ!!

5月の答え

2	8	3	7	1	4	9	5	6
1	9	5	2	6	8	7	4	3
4	6	7	5	3	9	2	1	8
3	4	2	1	9	7	8	6	5
8	1	9	6	2	5	3	7	4
5	7	6	4	8	3	1	9	2
7	5	8	9	4	2	6	3	1
9	3	1	8	5	6	4	2	7
6	2	4	3	7	1	5	8	9

A B C D E F

9	3	9	4	1	8
---	---	---	---	---	---

ナンプレ 6月の答え

A B C D E F

--	--	--	--	--	--

住所

氏名

電話番号

ご意見や季節のつばやきなどの一言をお寄せください。

ペンネーム ()

応募者の個人情報は厳正に管理し本応募以外の目的には使用しません。

おめでとうございます!! 5月号の当選者

- ・中尾 幹夫さん
- ・大石 雅明さん
- ・増川 純仁さん

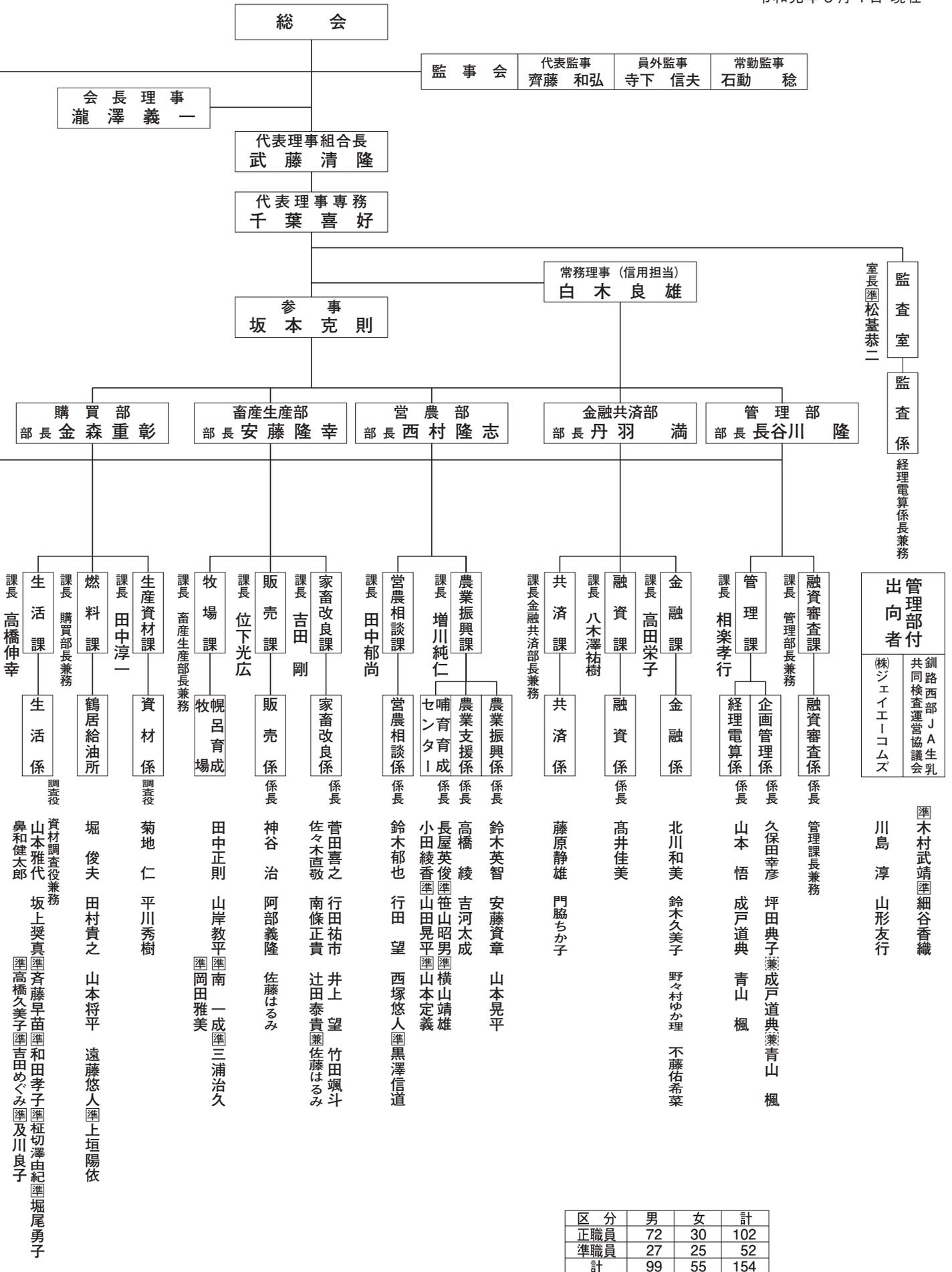
・正解者3名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。
なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。
《応募方法》左下の部分を本所 企画管理係までFAX (0154-64-2315) をいただくか、切り取っていただき各支所の総務係迄お渡しください。
《締め切り》2019年7月16日まで
当選者の発表は7月号にて発表します。
プレゼントのお渡しは郵送にて発送いたします。

・つばやきコーナー



ペンネームMさん

まだ五月なのに
暑い!





JAくしろ丹頂組織機構図

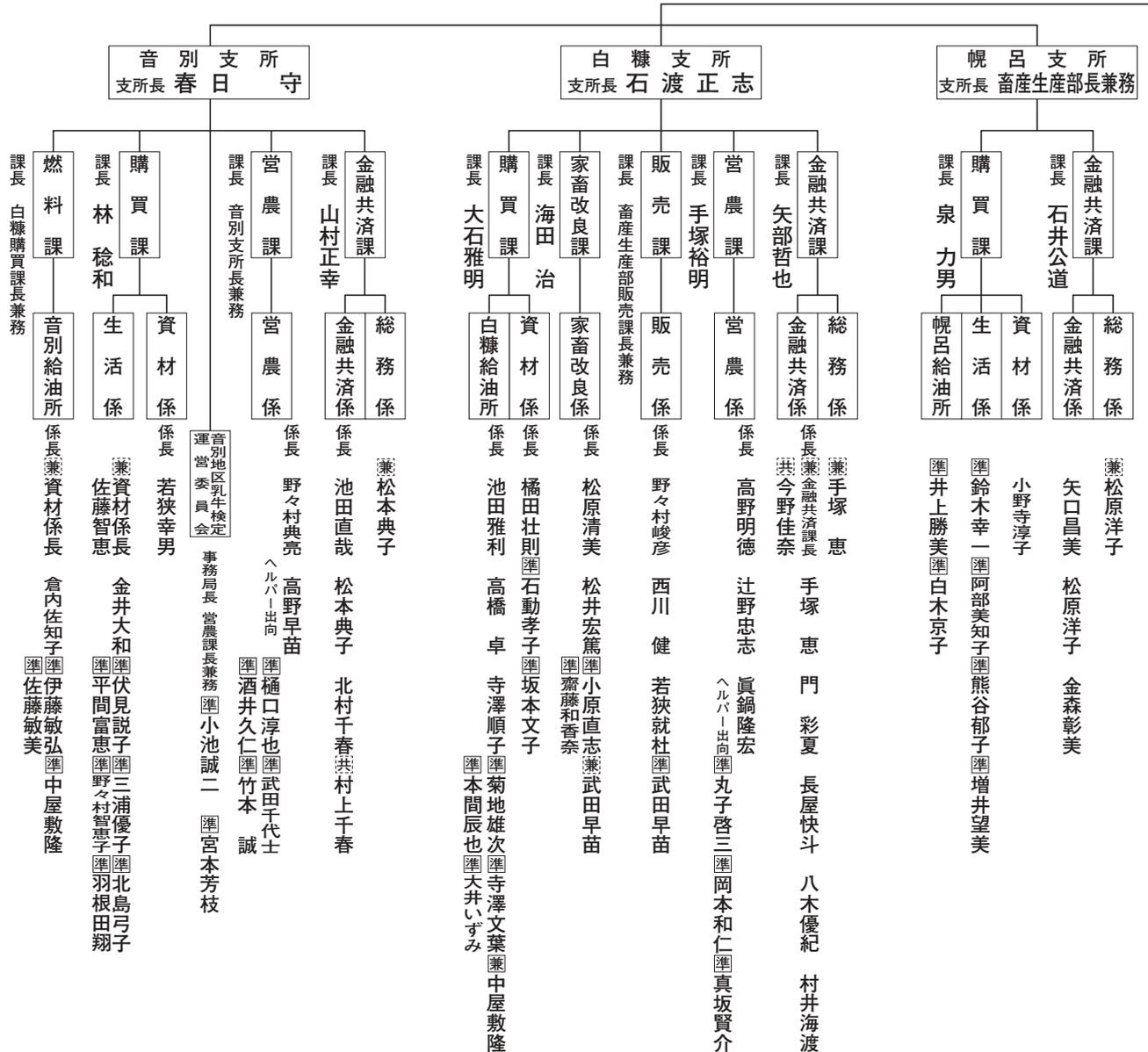
瀧澤 義一 松下 勉	武藤 清隆 對木 範誉	千葉 喜好 藤澤 常行	五十嵐政敏 成田 純哉	大坂 博文	学識経験理事 白木 良雄	理 事 会
---------------	----------------	----------------	----------------	-------	-----------------	-------

管理金融共済委員会
委員長 五十嵐 政 敏

営農経済委員会
委員長 大 坂 博 文

融 資 協 議 会
委員長 松 下 勉

社 員 社
(株)シエイエーコムス
(社)釧路市興音別社
(社)農業振興公別社



理事会報告

5月臨時理事会 令和元年5月24日(金)

付議事項

- 議案第1号 代表理事の選任について
- 議案第2号 会長、組合長及び専務の選任について
- 議案第3号 常務・信用担当理事の選任について

- 議案第4号 専門委員会並びに関係団体等の委員・役員の選任について
- 議案第5号 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- 議案第6号 理事の報酬の配分について
※以上選任および承認されました。

5月定例理事会 令和元年5月31日(金)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 4月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 理事に対する資金の貸付報告について
6. 決算状況について(一般社団法人 釧路市音別町農業振興公社)

- 議案第5号 回転出資金の出資への振り向けについて
- 議案第6号 融資の承認について
- 議案第7号 平成30年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の承認について
- 議案第8号 定款第53条第2項に規定する理事の順位について
- 議案第9号 固定資産の取得について

付議事項

- 議案第1号 専門委員会並びに関係団体等の委員・役員の選任について
- 議案第2号 常勤理事の事務引継に係る立会人について
- 議案第3号 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書について
- 議案第4号 組合業務及び財産(連結含む)の状況に関する情報開示につ

その他協議事項

1. 春季地区懇談会および第13回通常総会における意見・要望等について
2. 持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議について
3. 当面の業務日程について

■平成31年度	生乳生産実績(5月)			
	月計乳量(kg)	5月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,833,833.7	98.9	17,226,364.0	98.8
鶴居地区	3,333,241.8	101.9	6,498,988.4	101.6
幌呂地区	2,339,963.2	102.0	4,558,226.4	101.7
白糖地区	1,744,784.9	96.7	3,408,959.2	97.1
音別地区	1,415,843.8	90.4	2,760,190.0	90.5
管内計	46,024,020.2	99.3	89,210,665.2	98.7
(前年度管内計)	46,363,931.0		90,384,852.6	

辞令発令

(令和元年5月24日付)

氏名	新所属	旧所属
丹羽 満	金融共済部 部長兼共済課長	金融共済部 共済課長

(令和元年6月1日付)

氏名	新所属	旧所属
安藤 資章	営農部 農業振興課農業振興係	釧路西部JA生乳共同検査運営協議会(管理部付外向)
阿部 義隆	畜産生産部 販売課販売係	株式会社 ジェイエーコムズ(管理部付外向)

編集後記
EDITOR'S NOTE

□「農作業安全祈願祭」を終え、牧草の収穫作業など夏の農作業繁忙期を迎えました。安全祈願祭で武藤組合長の挨拶にもありました、事故はいつどこで起きるかわからず、ちょっとした油断が一生取り返しのつかない事態につながりかねないという事を心に刻みつつ運転や農作業にあたる必要があります。そして事故なく健康で一年を過ごせることを願っております。